

令和元年度 第2回 山梨県中小企業・小規模企業振興会における意見
～山梨県中小企業・小規模企業振興計画の改定について～

- SDGs について、記載した方が良いのではないか。
- 取り巻く環境並びに基本的施策の「8 持続的な発展」に記述する方向で検討する。

- 企業の国際化については、記載した方が良いのではないか。
- 基本的施策の「2 新たな市場の開拓の促進」及び「6 人材の育成及び確保」に記述する方向で検討する。

- TPP や FTA の問題が中小企業にどう影響してくるのかを、記載した方が良いのではないか。
- 課題①にある「米中の貿易摩擦など不透明の度合いが増す世界経済」の中に記述する方向で検討する。

- 自然災害に対する強靱化対策を記載した方が良いのではないか。
- 基本的施策の「8 持続的な発展」に具体的施策（BCP など様々な準備）を記述する方向で検討する。

- 今回の計画改定に関わらず、災害発生状況の把握をどうした方が良いのか現場の意見を聞きながら、考えていった方が良い。
- 今後、災害対策本部と摺り合わせをしながら、県として実効性のあるものに整理をしていく。

- 事業の方向性について、中小企業・小規模事業の振興計画だが、観光関連のものとは別建てになるということか。
- 今回、改定に当たって観光部が持っている観光推進計画もあるので、それとの棲み分けをしながら、観光分野に関しては、そちらに委ねるという考え方にするのか、もしくは、中小企業全般の話なので、観光業を営む中小企業、それに関連した製造業もこの計画で取り組んでいくのかというところで、現在調整中である。

- インバウンド需要の全県への波及について記載した方が良いのではないか。
- 取り巻く環境に記述する方向で検討する。

- IoTの導入に関する施策は「1 新商品・新役務の開発の促進」のみならず、小規模企業向けとして「6 人材の育成及び確保」「8 持続的な発展」にも入れて欲しい。
- IoT等を活用した業務プロセスの見直し、業務の効率化、生産性の向上により多様な働き方・働き方改革を促進する旨を記述する方向で検討する。

- 人材の確保や育成、持続的な発展に関しては、中小と小規模では違ってくるが具体的な施策で分けることも可能なのか。
- 中小企業全般の話をするとともに、小規模企業についても視野を入れた計画づくりしていく。

- この計画は、競争に生き残れない企業と成長していく企業、両方とも救うのか。どのようなスタンスで中小企業、小規模企業を振興していくのか。
- 振興条例の前文には「意欲のある中小企業、小規模企業が自らの努力と創意工夫を基本としながら、持てる力を十分に発揮できるように新しい価値の創出や生産性の向上によって変化に即応できるように、県、市町村、商工団体、金融機関など地域全体で支えていく」とあり、中小企業、小規企業の皆さんとしても意欲を持って、それぞれの事業に臨んでもらいたいという前提がある。その上で、県の施策としては、中小企業、小規模事業全般をしっかり支えていく。

- 事業承継、BCPなど課題は多いが、施策を打つ、その前段階で中小企業の気づきが重要。周知や、必要性を謳っていくことがこの計画の成功に導く。
- 計画の推進体制に記述する方向で検討する。